

えびの

市議会だより

2019
第122号

令和元年11月20日

Ebino City Assembly Report 2019/11/20 Vol.122



12月定例会は
11月29日
開会予定

秋空に舞うパラグライダー
(コカ・コーラグリーンパークえびの)

令和元年9月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

会期：令和元年9月2日～9月20日（19日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第10号	平成30年度えびの市一般会計継続費精算報告書について	—	—
報告第11号	平成30年度えびの市健全化判断比率について	—	—
報告第12号	平成30年度えびの市資金不足比率について	—	—
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	別段異議はない
議案第57号	教育委員会の委員の任命について	—	同 意
議案第58号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更(第1次)について	総 務 教 育	原案可決
議案第59号	えびの市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第60号	えびの市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第61号	えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第62号	えびの市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第63号	えびの市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産 業 厚 生	撤 回
議案第64号	えびの市企業立地促進条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第65号	えびの市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第66号	えびの市水道事業給水条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第67号	消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	予 算 等 審 査 委 員 会	原案可決
議案第68号	令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第4号)について	予 算 等 審 査 委 員 会	原案可決
議案第69号	令和元年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第2号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第70号	令和元年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第1号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第71号	令和元年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第72号	令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第2号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第73号	令和元年度えびの市水道事業会計予算の補正(第1号)について	総 務 教 育	原案可決
認定第1号	平成30年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	決 算 審 査 委 員 会	認 定
認定第2号	平成30年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	産 業 厚 生	認 定
認定第3号	平成30年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	産 業 厚 生	認 定
認定第4号	平成30年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	産 業 厚 生	認 定
認定第5号	平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	産 業 厚 生	認 定
認定第6号	平成30年度えびの市水道事業会計決算の認定について	総 務 教 育	認 定
認定第7号	平成30年度えびの市病院事業会計決算の認定について	総 務 教 育	認 定

2. 陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
陳情第7号	グリーンツーリズム体験イベント企画運営事業について地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書	産 業 厚 生	不 採 択

3. 議員提出議案等

番 号	件 名	提案者	審議結果
議員提出意見書案第4号	硫黄山からの泥水対策に伴う水質改善処理施設整備を求める意見書(案)	産業厚生常任委員長 西原義文	原案可決

令和元年10月臨時会 議案等審議結果表

1. 議案等

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
議案第74号	監査委員の選任について	—	同 意

令和元年 9月定例会に 提案された議案

令和元年9月定例会は9月2日から9月20日までの19日間開催し、報告3件、議案17件、認定7件、陳情1件、諮問1件、委員会提出意見書案1件を審議しました。主な議案等を報告します。(審議結果の詳細はP. 2を参照ください。)

条例の関係

議案第59号 えびの市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について

女性活躍推進の観点から住民基本台帳法が改正され令和元年11月5日から旧氏の併記を可能とするとともに性同一性障がい者等の人権に配慮し、申し出があった場合は、印鑑登録証明書には記載しないこととするための印鑑登録及び証明に関する一部を改正するもの(詳細はP. 5を参照ください。)

議案第64号 えびの市企業立地促進条例の一部改正について

企業が進出しやすい環境づくりと市内移住者の雇用を図ることを

目的に、指定企業指定基準、奨励基準及び奨励内容の見直しを行うため、えびの市企業立地促進条例の一部を改正するもの(詳細はP. 5を参照ください。)

予算の関係

議案第68号 令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第4号)について

歳入歳出それぞれ5億2,660万2千円追加し補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ13億575万6千円となります。(詳細はP. 5〜6を参照ください。)

- (主なもの)
- ・企画費
えびの駅東側敷地一部購入費 218万4千円
 - ・商工費
企業立地対策事業費 530万5千円
 - ・民生費
子ども・子育て支援事業費 639万3千円

決算の関係

認定第1号 平成30年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について

収入済額は145億3,352万1,876円、支出済額は139億3,241万3,191円となり、歳入歳出差引額は6億110万8,685円で、翌年度へ繰り越すべき財源3,787万4,693円を差し引いた実質収支額が5億6,233万3,992円となりました。(詳細はP. 6を参照ください。)

認定第7号 平成30年度えびの市病院事業会計決算の認定について

収益的収支につきましては、収入額が7億9,040万4,137円、支出額が8億3,875万4,705円となりました。資本的収支は、収入額が2,597万2,000円支出が4,126万8,393円となり不足する額1,529万6,393円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額285万3,973円、過年度分損益勘定留保資金1,244万2,420円で補填いたしました。(詳細はP. 4を参照ください。)

特別会計

議案第72号 令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第2号)について

歳入歳出それぞれ375万6千円を追加し補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ9億2,360万7千円となります。

陳情関係

グリーンツーリズム体験イベント企画運営事業について地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書は賛成少数で不採択と決しました。

人事案件

- 人権擁護委員
野間 和則 氏
- 教育委員会委員
松元 國治 氏

総務教育常任委員会報告

9月定例会において、当委員会に付託されました議案6件・認定2件の審査を行いました。

審査の結果、全ての議案は原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第61号 えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について

問 工業標準化法の一部改正により、「日本工業規格」から「日本産業規格」に改正されたとのことだが、工業が産業と名称が変わった内容は。

答 これまで日本工業規格については、日本国内の工業製品に関する規格や測定法などで定められた日本の国家規格で、これまでは鉱工業分野のみが対象となっていたものが、今回の改正によりこれまでのこの鉱工業分野に加え、データ・サービス分野なども含めることとなり、産業標準化法と名称が改正された。

認定第6号 平成30年度えびの市水道事業会計決算の認定について

問 供給単価・152円62銭に対して、給水原価・176円59銭となっている。努力しての最小限のマイナスに留めていると思うが、今後の推移の予想はいかがか。

答 現在逆転現象となっているが、本来、供給単価が給水原価を上回ることが理想であると認識している。今後の見込みとしては、水道の未布設要綱による給水人口あるいは給水戸数の拡大や、現在着手している大迫・妙見地区の簡易水道から市水への加入により、ある一定の増収が見込まれると考えている。併せて、現在造成が始まった産業団地に関しても、まだどのような企業が立地される

かは示されていないが、少なくとも企業立地により増収が図られるのではないかと考えている。また、減価償却費が一年間の決算の40%近くを占めており、内部の留保資金は着実に増加をしている状況である。今後も安定的経営を見込めるように努める。

認定第7号 平成30年度えびの市病院事業会計決算の認定について

問 未収金7,690万6,472円について、年度末3月31日時点から現時点までに回収出来た金額は。

答 令和元年8月31日現在での入金額は70万6,788円である。

問 入院時の書類に記載いたただく保証人について、医療費の未収金が生じた際の取り扱いは。

答 基本的には本人への請求を行い、未納の場合も本人への督促を行っているが、支払いが滞っている場合もある。今後は、保証人への請求も検討するべく考えていく。

問 外来診療時の未収金についての対応は。

答 外来に関して、平日と合わせて土日も急患が来られて、その際、預り金として症状に応じて3千円または5千円で一律預かっているが、その後、それ以上の医療費となった患者さんが、病院にお見えにならずに滞納が発生しているということもある。病院収益に大きく関係するので、そのようなことが発生しないように協議して改善に努めたい。

総務教育常任委員会
委員長 遠目塚 文美

産業厚生常任委員会報告

9月定例会において、当委員会に付託されました議案8件・認定4件、6月定例会で継続審査としていた陳情第7号について審査を行いました。

審査の結果、陳情第7号については賛成、反対の討論があり、挙手による採決を行った結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。議案6件については、討論はなく、全会一致で可決すべきものと決しました。認定の審査結果については、認定第5号、平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定についてのみ、討論はなく、全会一致で承認すべきものと決しました。その他認定3件については、いずれも反対の討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で承認すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

問 障がい者の方の雇用状況は。

答 平成29年10月18日時点で、指定企業の一部ではあるが、7企業で30名が雇用されている。

議案第70号 令和元年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第1号)について

問 後期高齢者医療保険料が、505万円増額されている要因は。

答 軽減措置が、本年度から3年間をかけて、本来の軽減割合の7割軽減に戻すことになっている。初年度の本年度については、昨年度まで9割軽減だった方が8割軽減になるため、増額の補正予算を計上した。対象者は1,304人で、保険料は昨年が4,800円だったものが、9,600円に増額になっている。

産業厚生常任委員会

委員長 西原 義文

予算等審査特別委員会報告

今期定例会において、当特別委員会に付託されましたのは、議案2件であります。以下、主な議案審査の内容を報告いたします。

議案第67号 消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について

えびの市使用料及び手数料の一部を改正する条例(令和元年度えびの市条例16号)の施行に伴い、プラスチック製容器包装の処理区分を事業系一般廃棄物及び、産業廃棄物に追加する改正を行っていたので、産業廃棄物区分からプラスチック製容器包装の区分を削除するための一部改正です。

議案第68号 令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第4号)について

企業立地対策事業費について

問 企業誘致に向けた新聞・雑誌の広告とのことである

議案第59号 えびの市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について

問 既に婚姻され、男性側の氏を名乗られている方は、どのような手続きをすればよいのか。

答 今回の改正内容の施行後、の氏を名乗ることは可能であり、婚姻と離婚を繰り返して、旧氏が複数ある場合でも、一つの氏を選択して申請することで、旧氏を登録することが可能である。

議案第64号 えびの市企業立地促進条例の一部改正について

問 今回の改正により、雇用促進助成金の障がい者雇用に関して、10万円増額し30万円とのことだが、指定企業の中で、障がい者雇用助成が30万円に至った経緯について。

答 えびの市内にも障がい者は、かなり人数もおられるため、その方たちを積極的に企業に雇っていただきたいということで、一般の方は5万円増額、障がいの方については、雇用促進のため、10万円増額し30万円とした。

が、新聞社・雑誌社はどこか。

答 西日本新聞および日本経済新聞を想定している。西日本新聞は、九州最大69万部、日本経済新聞西部支社版17万部の発行部である。また、雑誌は流通研究社発行の月刊誌「マテリアルフロー」という雑誌を想定している。

元金利子について

元金に対する質疑があり、平成20年度に借り入れた臨時財政特例債の10年後の金利見直しによるものであり、元利均等償還方式の再計算を行うことにより、償還できる元金が増額との説明がありました。また、利子については利率の見直し、及び、平成30年度借り入れた地方債の総額が確定したことにより減額されました。

審査の結果につきましては、討論はなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

予算等審査特別委員会

委員長 北園 一正

決算審査特別委員会報告

今期定例会において、当特別委員会に付託されましたのは、認定第1号平成30年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定についての1件であります。事業等の成果や執行状況を中心に審査を行いました。以下、主な審査内容を報告いたします。

ぷらいど21事業費について

問 ぷらいど21事業は民間活力を導入するための事業であるが、最近では自治会の物を買うだけに終わっている。考えを示していただきたい。

答 平成30年度は、民間団体の活用が1団体しかなく、二次募集を行ったが応募が1団体のみとなった。今後増えるような取り組みをしていきたい。

放課後児童クラブ運営費・放課後児童クラブ委託料について

問 事業実績が述べ人数で書いてある。児童の利用者数を知りたい。

答 平成30年度実績で、飯野小児童クラブ92名、上江小児童

クラブ25名、加久藤小児童クラブ62名、真幸小児童クラブ18名、学童保育まさき30名である。計227名が放課後児童クラブを利用した。

健康づくり推進事業費・各種検診等委託料について

問 検診の受診者数は載っているが、受診率はどうか。

答 胃がん検診7・7%、大腸がん検診7・6%、肺がん検診4・4%、子宮がん検診8・8%、乳がん検診7・5%である。

問 健康診断を促進することによって、ある程度の年齢になつたときの健康をたもてると思う。受診率の向上を行っていただきたい。

答 各種受診率を上げたいと考えており、課題と認識している。

担い手対策推進事業費・認定農業者育成指導員報酬について

問 認定農業者育成指導員の説明を求める。

答 認定農業者の認定を受けるためには、5年後の農業経営、安定的な農業経営を行う計画書を作成し、審査会での審査を経て認定を受ける必要がある。

基本的には農業者が自分の農業経営について、計画書を作成することになるので、計画書作成のアドバイザー、サポートするために、育成指導員を設置している。

審査の結果、討論はなく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

決算審査特別委員会

委員長 北園 一正

一 般 質 問

介護保険料の低減を図れ



中山 義彦
議員



質問 えびの市の介護保険料は県内で一番高い。保険料を低減するために、先進的な取組みを行っている日向市へ職員を外向させて導入を図ったかどうか。

市長 改革を進めないと今の状況は変わらないと思うので、他の自治体の取組み等も参考にしながら進めていく。

質問 百歳体操に、作業療法士、栄養士、理学療法士等を派遣させてケアの向上を図ったかどうか。

介護保険課長 健康の増進を図るために保健師の派遣を検討する。

質問 市役所入り口の屋外エレベーター設置計画の状況は。

財産管理課長 実施設計を行っており、来年度の当初予算に設置費を計上する予定である。



NPO法人えびの福祉作業所

質問 丸正フーズの工場建設・操業について、協議の現状を伺う。

市長 5年以内に操業する事になってはいるが、丸正フーズから契約の延長の申し出を受けているので、今後、協議を進めていく。

質問 産業団地は、全分譲地を12,000円/m²で売却することとよいか。

市長 分譲価格を安くする考えはない。この価格で分譲する。

多様な地域づくりの推進



遠目塚 文美
議員



質問 SDGs（持続可能な開発目標）の、えびの市の状況は。

市長 自治体における達成に向けた取り組みは、行政運営の指針として大変重要だと認識している。

企画課長 現在えびの市では、総合計画・総合戦略には位置付けているが、17のゴールに基づく事業仕分けや関連付けはしていない。

今後、庁内や市民への共通認識を深めた中で、次期総合戦略に落とし込み、SDGsを推進していく。

質問 災害時に利用可能な井戸の把握、併わせて、一時避難所としての自治公民館の活用について、どのような検討をされたものか。

基地・防災対策課長 井戸については、自主防災組織で把握しておく必要性を感じている。一時避

難所においても、自主防災組織設置検討委員会の協議で検討中である。

質問 飯野駅前地区体育館内の集会所にエアコン設置要望がある。

社会教育課長 スポーツ推進審議会でも上がっている。次年度での予算化を検討している。

質問 コミュニティセンター駅前分館の利用申請の一元化要望は。

市民協働課長 料金の発生しない利用申請は、変更を検討する。



SDGsとは、2015年に国連で採択され、2016年から2030年の15年間で達成するための17の大きな目標

社会的弱者に寄り添った対策を



小宮 寧子
議員



な取り組みも必要である。

質問 子ども達の虫歯予防のためにフッ化物洗口を実施する検討はないものか。

教育長 宮崎県歯科医師会などの

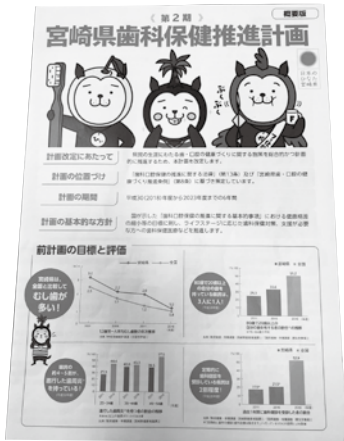
の情報によると、フッ化物洗口は安全性が高く、虫歯予防には大変有効であると示されている。現在関係課等で実施について協議しており、教育委員会としても実施に向けて研究を進めていきたい。

質問 聴覚や言語機能の障がいにより、音声での緊急通報が困難な方のためにNET119緊急通報システムを導入する考えは。

市長 現在県内でも指令台の共同運用を検討しており、西諸広域の中でも検討していただいている。市町村長としてもしっかりと対応するよう提言していく。

質問 超高齢化社会を見据えて、今後高齢者のごみ出し支援をどう取り組んでいくのか。

市長 現在ごみ出しが困難な高齢者には、地域のボランティアやサービスを使って行っている。今後は単にごみを持ち運ぶという事だけではなく、見守り体制の強化が必要。さらにごみ以外の問題も出てくると考えられるため、新た



虫歯予防の取り組み

保育園の給食費無償化を



西原 政文
議員



費の無償化に充てるべきだ。

市長 負担が残るが3歳児以降給食費無償とし、子育て世代の負担軽減に努め今後も政策を進める。

質問 硫黄山対策は、地元の負担なしで進めると説明していたが。

市長 長江川からの取水ができないことが前提であり長江川の水を使う事で計画変更した。

質問 岡元用水への水の準備と中和処理施設の現状はどうか。

市長 県が9月まで調査し今後国に対し財政処置を要望していく。

質問 消費税増額は、貧困と格差を拡大させ重大な影響を受ける。

市内業者のキャッシュレス取引のポイント還元準備はできているか。

市長 消費税増税の影響はある。

緩和策が有効か疑義があると認識しているが、国策であり増税分の使い道を注視する。ポイント還元の登録件数は、27店舗である。

質問 国の保育料無償化により市の持ち出しが減る。これを給食



一 般 質 問

市長・教育長に提言する!!



吉留 優二
議員



市長 八幡丘公園の魅力の一つである展望施設をさらに高くするという事も想定はしている。市民ワークショップなどで提案をしながら全体の整備計画を進めて行く。

質問 山内浄水場施設及び山内地区は、土石流想定はん濫区域に含まれる、地域住民避難経路として幹線道路へ速やかに移動ができる動線計画が必要だが見解を伺う。

市長 災害対応での動線計画は難しいが、地元住民の生活道路としての優先順位をつけて過疎計画で順次計画的に進めて行く。

質問 市内商工業者のため小規模事業者持続事業支援の事業拡大が必要であるが市長の見解を伺う。

市長 進捗状況を見ながら効果的な補助金になっているか注視しながら少なくとも5年は続けて行く。

質問 観光振興拠点施設として、360度見渡せる八幡丘公園展望施設が必要と考えるが見解を伺う。



山内地区に速やかな道路整備を!!

質問 子供たちが自らの力で道を切り開いていけるキャリア教育を期待するが教育長の所見を伺う。

教育長 キャリア教育とは、将来を見据え自分の生き方をしっかりと考え職業観や勤労観も含め学び生かしていくことだと考えている。

水質改善対策について



北園 一正
議員



質問 堂本頭首工等の水質改善監視・緊急システムによる取水では、硫黄山に平成30年4月規模の噴火が起きると、被害が再度繰り返されることになる。恒久的な水質改善中和処理施設が必要となるが、その対策について伺う。

市長 水質改善対策は、県が中心となって実験等を繰り返し行っている。9月末までにデータをとりまとめ、10月には方向性を示すと県から報告が来ている。来年の取水に向けてしっかりとした方向性を示していただきたいと、県に要望している。

質問 市議会は、硫黄山からの泥水に伴う水質改善処理施設整備を求める意見書を採択し、国に提出することになっている。産業厚生

常任委員会の調査研修の結果、石灰石による水質改善中和処理施設が、実現可能で効果が期待できる事業であると考えている。このことについて市長の対応と見解を伺う。

市長 市からも、恒久的な施設を作っていたいただきたいと要望している。市議会と市が同様であると認識している。



群馬県品木ダムの中和処理施設

企業立地施策について



小東 和文
議員



質問 令和3年3月の完成を目指し産業団地造成が着々と進んでいるが、造成工事中の今から移住促進へ向けた情報を発信することが必要であり、移住定住を促すために従業員のための住居建設用地を事前に確保しておくべきでは。

企業立地課長 民間企業の開発に期待しており市としては今のところ用地取得の計画はしていない。
質問 このプロジェクトは労働力確保のためだけに企業誘致するのではない。若者の人材が地方から大都市に流出する要因の一つは賃金の格差だ。この産業団地は給料が高い企業を誘致すべきだ。そうすることによってU・I・Jターンや定住に結びつくと考えるが。

市長 給与や福利厚生面の待遇

を押し上げることにより雇用確保が可能になると思う。そういった観点からも誘致を進めていきたい。
質問 黒木和雄監督記念館を歴史資料館周辺に建設していただきたい。

市長 前向きに取り組みたいと思っているが、教育委員会の意見を尊重したい。

教育長 記念館設置ではなく、企画展・特別展の実施を考える。



造成工事が始まったえびの市産業団地

霧島千草木地区水道施設調査を



栗下 政雄
議員



質問 農林業者の高齢化が進み、担い手不足が深刻な問題である。将来の担い手のためのICTの活用やロボット導入の研修の考えはないのか何う。

畜産農政課長 スマート農業、研究・研修については、去る7月9日、10日、職員2名を農業技術革新工学研究センターに派遣させた。内閣府のイノベーション戦略的総合プログラムの平場の水田作をメインターゲットとして、トラクター、田植え機、コンバインなどの自動運転、ドローンの活用、営農管理システム・水管理システム等、研究開発されている。今後AI・IC化のロボット使用がある。農家にも情報提供していく。

質問 霧島千草木地区は新燃岳

噴火により、水源地が降灰の被害を受けた。その対策はどのように進んでいるか。

市長 現在、既設の小規模水道施設を国の補助事業を活用し、改修に向けた取組を進めている。中山間地域総合整備事業等、具体的な調査をする。



ICTの活用を

◎ 委員会等視察報告 ◎

総務教育常任委員会

管外視察報告

■日時・場所

令和元年7月11日(木)
 ～7月12日(金)
 社会医療法人緑泉会
 米盛病院
 (鹿児島県鹿児島市)

■目的

救急医療支援に関して

■調査内容

米盛病院副院長・えびの市出身の富岡先生とのご縁で、故郷の医療に係る支援をと申し出て下さり、現在、えびの市京町温泉マラソン大会等で医療支援をいただいています。また、平成30年9月に「災害時における救急医療支援に関する協定」を西諸広域消防本部と締結し、西諸広域で災害や多数の傷病者が発生し、西諸広域消防本部や医療機関で対応しきれない際、医師等の人材提供や処置等の支援を要請することが可能となりました。平常時においても、情報共有や職員研修、交流等を行い、知識や技術の向上を図れることが期待され



救急医療支援協定を締結させていただいた米盛病院

総務教育常任委員会
 委員 遠目塚 文美

ます。米盛病院には、ドクターヘリやドクターカーが配備されており、ヘリポートも完備。防ぎ得た死を減少するべく人材・設備が整っています。また、24時間救急相談ダイヤルも完備されていて、常時救急救命士が電話対応して下さいます。(#7099)

総務教育常任委員会

管外視察報告

■日時・場所

令和元年7月11日(木)
 ～7月12日(金)
 鹿児島県西之表市

■目的

◎市街地巡回バス及びデマンド型乗合タクシー運行の調査

◎地域活性化交流拠点施設

(愛称「ここのみね館」)の調査

■調査内容

◎市街地巡回バス及びデマンド型乗合タクシー

西之表市の公共機関として民間事業者による路線バス運行をしていたが、利用者の減少により赤字路線が拡大し赤字路線が廃止されたため、平成17年度から市が民間事業者へコミュニティバスの運行を委託しました。

その後、西之表市地域公共交通総合連携計画を策定し、平成24年新たな公共交通として、市内巡回型バスとデマンド型乗合タクシーの運行を開始しました。

そして、現在バス停新設や発着場時間の見直しなど、利用者のニーズに合わせた運行体制の見直しなどに取り組んでいます。

◎地域活性化交流拠点施設
 (愛称「ここのみね館」)

地域住民の生きがいづくり及び健康づくりを促進し、市民の交流及び地域活性化を支援するとともに地域資源の

活用により、市の活性化に資するため交流機会及び場所を提供する公の施設として、旧小学校跡地を改修し、平成29年10月に地域活性化交流拠点施設(愛称「ここのみね館」)として開設し施設の管理を地区へ委託しました。今後の課題と対策として宿泊利用者の確保という事で、各大学へ学生活動の拠点として利用してもらえようようにアプローチしています。

また、体験メニューの整備という事で、地区資源の整備及び体験メニューの冊子化やホームページ構築等による情報発信の確立に取り組んでいます。今回視察調査しました、市街地巡回バス及びデマンド型乗合タクシー運行と地域活性化交流拠点施設(愛称「ここのみね館」)の取り組みは、市民のより良い日々の生活を創るためにも参考になる視察調査となりました。

総務教育常任委員会

委員 吉留 優二



廃校を活用した地域交流施設
 (鹿児島県西之表市)

◎ 委員会等視察報告 ◎

総務教育常任委員会

管内調査報告

■日時・場所

令和元年8月8日(木)
えびの市内 体育施設

■目的

体育施設の現地調査

■調査内容

現在えびの市内には、市民体育館・地区体育館が5施設、運動公園・河川公園が5施設、その他に王子原野球場、弓道場誠心館、相撲場、水辺の楽校などの施設があり、野球やサッカー、バレーボール、卓球、グランドゴルフなど様々な運動の場として、また地域の交流の場として幅広い世代の方が利用されています。

施設としては、築年数が永く経っているものが多く、老朽化が進んでおり、特に体育館は、壁面のひび割れや雨漏りなど修繕箇所が多く目立ちました。また野球場や公園などは、雑草の除去やグラウンドの整備が必要であり、日頃のメンテナンスが大切であると感じました。



市内全ての体育施設等の現地調査(神社原運動公園)

今後の施設の運営・維持管理の仕方については、引き続き委員会としても調査・研究を行い、検討してまいります。

総務教育常任委員会

委員 小宮 寧子

総務教育常任委員会

管内調査報告

■日時・場所

令和元年8月8日(木)
文化センター

■目的

文化センター施設の状況について

■調査内容

文化センターは、平成31年度新たに指定管理から市直営になり、新体制で運営が始まりました。

文化センターの建設年度は、昭和60年度で鉄筋コンクリート造一部3階建て延べ床面積3,575㎡の構造を有しています。施設概要は、大ホールの収容人数533席(固定席520、車いす3、母子室10)で、舞台は仮設花道付き、巾24メートル奥行き11メートルで、使用用途として、演劇、音楽、舞踏、公園、映画、研修等の利用ができます。

その他の施設として、ホールに隣接する楽屋、和室会議室として収容人数45人、1階学習棟に、管理室45人、会議室18人、団体室36人、調理実習室37人、会議室B30人、その他、2階学習棟に大研修室126、150人、視聴覚音楽室48人、美術工

芸室40人収容できる各部屋が備えてあります。

文化センターの利用状況は、平成27年度40,092人、平成28年度43,596人、平成29年度44,153人、平成30年度40,357人となっております。

舞台修繕が平成28年度から平成30年度までの計画で修繕が行われました。

今後の改修として、ホールの屋根の雨漏り(200㎡)の改修が必要であります。

総務教育常任委員会

委員 吉留 優二



改修された箇所の現場視察
(えびの市文化センター 2F 照明室)

◎ 委員会等視察報告 ◎

産業厚生常任委員会

管内調査報告

■日時・場所

令和元年7月16日(火)～7月18日(木)
群馬県草津町・中之条町

■目的

中和処理施設運営及び再生エネルギーの
取組み状況

■調査内容

品木ダムの中和処理施設の運営について、
水質管理所の説明を受けました。草津温泉
下流はpH2の強酸性の水質のため、下流の
水田では石灰を散布して稲作を行っていま
した。その後、酸性河川の水質改善を主な
目的とした品木ダムと中和処理施設を建設
し、昭和39年よりアルカリ石灰を処理施設
で水溶させて河川に放流し、水質を中和し
ています。中之条町の再生エネルギーの取
組みは、太陽光発電と小水力発電の電気を
株中之条パワーが買取り、一般家庭や公共
施設に売電しています。

この視察を踏ま
えて、恒久的な水
質改善に向けた意
見書を作成し、9
月25日に中央要望
を行いました。
(詳細P.20を参
照ください。)



酸性河川の水質改善を行っている
品木ダム(群馬県草津町)

産業厚生常任委員会

委員 中山 義彦

産業厚生常任委員会

管内調査報告

■日時・場所

令和元年8月19日(月)
えびの市美化センター

■目的

ゴミの分別収集及び施設の運営状況につ
いて

■調査内容

ごみの分別は8種類に分別し、地区ス
テーション434箇所と設置して収集され
ています。平成30年度処理量は、焼却ごみ
7,216t、粗大ゴミ425t、ストッ
クヤード409tです。噴煙等環境への対
応状況については、年間1～2回の検測を
行い、ばい煙、ダイオキシン、悪臭、騒音、
振動ともに基準値以下の数値を維持し良好
に運営管理されています。施設の耐用年数
は令和7年が寿命とのこと、その後の対
応については、本年度中に計画案を示すの
ことでした。なお、施設内の各部署は整
理整頓が行き届いています。また、ごみ問
題はごみを減ら
す工夫を市民自
らが実践するこ
とで、施設の延
命化を計られ市
民の負担も軽減
されると思いま
す。



改修された箇所の現場視察
(えびの市美化センター)

産業厚生常任委員会

委員 金田 輝子

産業厚生常任委員会

管外視察報告

■日時・場所

令和元年8月29日(木)
えびの市山内地区及び中内堅地区の農道

■目的

議会報告会で要望のあった農道の調査

■調査内容

山内地区について、自治会長及び担当課
の説明を受けました。
水道課が新設した山内浄水場に隣接する
道路です。この道路は旧北部農免道路につ
ながっており、これを市道認定して整備し
ていただきたいとの要望がありました。
平成23年から平成24年にかけて農道として
現道拡幅を行い整備してきた経過があると
の説明でありました。
中内堅地区の農道の整備について、自治
会長及び担当課の説明を受けました。
圃場整備が行われた際、それまでの市道
の法線が変更となり梅木橋で交差が難しく
なりました。現在、古民家レストランなど
もでき交通量も多
くなり、そのため
拡幅を含め川沿い
の道路の整備が要
望されました。



議会報告会で要望の出された
道路の現地調査

産業厚生常任委員会

委員 西原 政文

◎ 研修報告 ◎

南九州中部市議会議員研修会

■日時

令和元年7月25日（木）

■場所

ガーデンベルズ小林

■研修内容

「私たちにできる災害への備え」という演題で、災害時救援ボランティアコーディネーターの樋口弓子氏を講師に迎えての講演会でした。近年の災害からの教訓により徹底して言われているのは、「自分の命は自分で守る」とこの重要性です。私たちに出来る防災では、①地域の状況を知ること、②危険な箇所等は行政と市民がしっかり情報をとること、③避難経路は2つ以上知っておくことなどが重要です。災害が発生してからは、公的支援が受けられるのは、早くても三日後からであり、電気・水道が寸断される

ことを想定して、三日分の水と持ち出し袋の中には下着、ヘルメット、簡易トイレ等を準備する。避難するときは、必ず火災のものになるブレーカーを落としてから避難をするよう防災に備えて日頃から家族で話し合うことが必要とのことでした。

金田 輝子



宮崎県市議会議員研修会

■日時・場所

令和元年7月29日（月）

宮崎市 ニューウェルシティ宮崎

■研修内容

「一般質問のしかた」と題して、MBA（経営学修士）や医学博士号を取得され、現在医療法人、社会福祉法人、社団法人など6つの組織で理事を務められている宮本正一氏を講師に迎えての講演でした。

宮本氏自身も平成7年に27歳で市議会議員に無所属で当選。5期20年の在任中、寝屋川市議会議長や12の選挙対策本部で事務局を務められています。その経験を元に、議員と職員のあり方や質問をする際の抑えるべき要点、情報の取り方など、議員活動、議員の資質の向上についての研修内容でした。豊富な経験と知

識を時おりユーモアを交えてお話され、大変参考になる学び多き研修会でした。今後の一般質問や議員活動の中で活かしていきたいと思っています。

小宮 寧子



みんなで語ってみる会

「市民との意見交換会」を開催しました!

8月2日(加久藤地区・真幸地区)、8月9日(文化センター)において議会報告会「みんなで語ってみる会」を開催させていただきました。ご多用な中、参加いただいた皆様ありがとうございました。

今回出された意見から、議会報告・公聴特別委員会での協議の結果、5つの項目について執行部への通知をいたしました。このほかいただいたご意見等に関しては、今後協議・検討・調査を重ねていきます。進捗状況については随時、議会だよりにて報告いたします。



議会報告について

当初予算の中から重要施策として5項目の報告をしました。

「硫黄山対策費(6,234万7千円)について」

①硫黄山噴火に伴い、市内の水稲作付等に大きな影響を及ぼしているため、農業経営が継続できるように対策を講じるものです。

質問…河川の汚濁は国の管理区域から有害物質の垂れ流しである。国の費用と責任で対策をとるべきものである。国会を動かすぐらいの真剣さが必要だ。どのように思うか。



答弁…その通りである。全議員、

市長と共に国に要望に行った経緯があり、伊佐市・湧水町とも動きはしている。再度上京して現場の状況、農家の心情を伝えたい。

要望 硫黄山からの泥水処理については恒久的対策を取っていただきたい。

要望 水門の開閉装置を宮川元頭首工と宮路玉頭首工に早期の設置を要望する。

「保育所施設整備事業補助金(1億2,706万6千円)について」

②上江保育園の老朽化に伴う施設整備に要する経費の一部補助をするものです。

質問…保育園の建物は市の管轄のものか。

答弁…建物は民営化で譲渡されたものである。

質問…保育所施設整備事業補助金について、飯野地区に新規の保育所ができるか聞いていますか、この点について聞いているかどうか、これに関しても補助金は付くのか。

答弁…この事業については、市としては現在白紙という事である。

意見 新規保育所の参入は、えび

の市民にとっても、既存の保育園と共に素晴らしい展開になるのではないか。移住政策にも影響を与えるチャンスとして。実現を目指してもらいたい。

「小規模事業者持続化支援事業補助金(1,000万円)について」

③小規模事業者の活性化を図るため、店舗の改修・改築や設備等の改修、購入、販路拡大に要する経費の一部を補助するものです。

要望 補助幅をもう少し広げてもらいたい。

「産業団地整備事業繰出事業(845万1千円)について」

④産業団地整備事業特別会計を円滑に執行するため、必要な経費を一般会計から繰出するものです。

意見 産業団地造成が始まり2年後に工事が完成する。企業誘致を議会も市長と共に実践し成功させなければならぬと思う。特別委員会を設置し市内外に意気込みを示すべきである。

要望 企業が来やすい体制・雰囲気

気作りが大切である。市長をバックアップして最小の経費で最大の効果を上げることに努められるよう要望する。

「西諸県郡市特定疾病対策協議会負担金（111万7千円）について」

⑤牛白血病浄化を図るため血液検査等に係る経費の一部支援を行うものです。

※質問・要望は特にありませんでした。

各常任委員会の調査報告について

※内容については、各常任委員会の報告をご覧ください。

要望 地域公共交通対策は重要課題であるので、今後も継続した取り組みをお願いしたい。

要望 硫黄山対策について、恒久的対策を講じるよう国に対して強力的に要望していただきたい。

共通テーマでの意見交換について

（注：3会場の意見をまとめたものです。）

「養護老人ホーム「真幸園」の民間

譲渡について

◆指定管理者制度導入から民営化へ移行する旨の市の考えが示されたが、十分な説明がないまま提案された議案でありました。今後3年間は指定管理での継続になったものです。今後の対応について意見をいただきま

した。
質問：市が民間譲渡する理由は何か。

答弁：行政改革の一環として、民間譲渡をするという考えが示されました。議会としては、自治会や、市民の団体事業所や関係団体等の意見を聴いての提案か問うたが、されていないということ。次期早々ではないかとの判断をしたものです。

質問：今後、高齢者の増加の影響で施設への入所もできなくなるのではないかと懸念する。民営化してしまつと、行政は事業者に対して何も言えなくなるのではないか。将来的に行政の大きな重要施策だと思つう。

慎重な対応を望む。議会も詳しく調査し協議を重ね対応してもらいたい。

答弁：高齢化問題は避けて通れない重要な課題である。基本的には市民の意見を重視していくべき課題で

あると認識している。ここでの意見を十分に参考とさせていただく。

意見 養護老人ホームは、民営化して福祉の立場に立ったサービスの充実を図るのが良いのではないか。

意見 養護老人ホームは、市が介入しやすい指定管理者導入での継続が望ましいのではないか。

見をいただきました。

質問：指定管理者制度から直営に戻した理由は何か。

答弁：市民からの様々な意見を網羅して、社会教育課全体が従来どおり文化センターに構えて社会教育行政を行うのが望ましいという判断がなされたものです。

意見 市民の総合的な生涯学習活動の場・公民館活動の拠点施設として、市の教育方針に沿った自由な学習活動の拠点として直営が望ましいと思う。

意見 「文化の杜」は学校教育の関係、社会教育の関係全てを営むという事で出来たもので、原点に戻って学校教育課も文化センターではないか。もともと市長部局と教育委員会部局とは別々のものである。基本に立ち返って行政改革の一貫として教育委員会部局が教育長も含めて全て文化センターで業務を行う考え方もある。検討していただきたい。



養護老人ホーム真幸園

文化センター直営について

◆平成27年度より4年間、指定管理者による運営から、今年度4月に市の直営となりました。今後の文化センターの在り方について参加者の意



えびの市文化センター

◎真幸地区

真幸地区コミュニティセンター

(令和元年8月2日開催)

意見 本当にえびのに企業誘致ができるものか懸念している。

意見 産業団地の液状化については、重要な課題であるので十分に検討していただきたい。

意見 工業団地が産業団地に変更になった理由はなにか(※法律改正によるものです)

意見 工業団地の売却に当たって、市長は市民に対し10年間で行うと説明されたので、その通りの進捗を図ってもらいたい。

要望 中内堅の市道を取り組んで

の圃場整備後、法線が変更になり狭い橋を通ることになった。特に梅木橋付近は消防車も通れず、宅配業者も苦慮しているので早急な対応を検討していただきたい。

の圃場整備後、法線が変更になり狭い橋を通ることになった。特に梅木橋付近は消防車も通れず、宅配業者も苦慮しているので早急な対応を検討していただきたい。

◎上江地区・飯野地区合同文化センター大研修室

(令和元年8月9日開催)

質問 議員定数15名は、他市と比較して、人口比率でいくと多いのではないか。

答弁 今後、協議をしていく考えである。

意見 えびの中央線の改良について、防災、輸送体系として重要な幹

自由な意見交換会の報告

◎加久藤地区

えびの市役所1-1会議室

(令和元年8月2日開催)

意見 体育関係に関する関心をもっと深めて、施設の整備、合宿の受け入れ等、スポーツの振興を図っていただきたい。

意見 市立病院の老朽化対策を考えるべきではないか。



線である、池島地区から市役所に直線で行けるように早期の対応を検討していただきたい。

要望 自治公民館の空調設備の一部助成をお願いしたい。

要望 山内地区の市水浄水場の横の農道は交通量が多く危ないので、この道路を市道認定し整備をお願いする。

議会報告の中で上がった意見を各議員が一般質問で取り上げたものについては次のとおりです。

「養護老人ホーム真幸園の民間譲渡について」

質問者 北園 一正

質問 今回の定例会で向こう3年間の指定管理期間で検討すると答弁がされているが、「議会報告での共通テーマ」として、市民から聞いた意見では、民営化になると、職員のサービスの問題等が懸念される。一度売ってしまうと民間業者に対して何も言えない。というようなことが生じないとも限らない。増加していく高齢者への対応は市も慎重に対応

しなくてはならない。議会も詳しく調査し協議を重ね市に対して意見を述べなければならぬ等の現行の指定管理者制度による運営が望ましいとの意見や、一方で市は以前、行政改革の一貫として保育所民営化を行い人件費の削減を行った。養護老人ホーム運営は、専門家が老人福祉の立場に立った専門的にサービスを充実してやっていく民営化が望ましいとの意見の、二つの相反する意見があった。3年間で検討する内容は、どのようなことを想定されての答弁であったか伺う。

答弁…前回の議会の中でも市民の意見、外部からの意見を聴いて判断していただきたいとの意向を伺っている。えびの市としては、高齢者福祉審議会での審議やパブリックコメントえびの市民モニター制度を活用した市民の意見を聴いて取りまとめていきたいと考えている。

「文化センターの直営について」

質問…文化センターの運営については、平成27年度から指定管理者制度を導入し運営してきたが、議会の議決を受けて今年度より市の直営に

よる運営となった。運営が指定管理者から直営となった大きな要因は、市民目線からすると社会教育課が遠い存在になったとの意見が多くあり、このような状況になったと考える。文化センターは地域コミュニティの活動拠点施設として、多くの市民に親しまれている。行政と市民の意思疎通について、文化センターの地域コミュニティ施設としての役割を、教育長はどのように認識しているか伺う。

答弁…文化センターには何度も行ったが、図書館利用者、資料館利用者と共に生涯学習を行う大切な場所であると認識している。

質問…指定管理者制度から直営となったが、市の基本方針として文化センターは、直営から指定管理者制度なのかどのように捉えているか説明を求める。

答弁…文化センターは直営となり、センターの利用者と職員が直接関係することで、丁寧な対応や手続きの迅速化等市民密着型に繋がっている。

直営で円滑な運営がなされているが、他の施設の運営を含めて検証を進め、より良い運営、質の向上に努めてい

く。

「令和元年度小規模事業者持続事業について」

質問者 吉留 優二

質問…令和元年度小規模事業者持続事業が新規に1千万円予算化され、とても良い支援事業だと市内工商业者から高い評価を受けている。市内工商业者の事業継承意欲への促進、そして工商业の活性化のための事業継続的と事業拡大が必要と考えるが見解を伺う。

答弁…補助率2分の1、限度額1

00万円などの制度を周知して、足腰の強い経営体制のバックアップとなるよう、より良い制度とし、また、事業者の持続化支援事業として取り組んでいく。

答弁…効果的な補助金になっっているか精査しながら、少なくとも5年程度は継続していき、事業の進捗状況を見ながら5年後には、制度の自身を見直して行く必要があると考えている。

「道路改良について」

質問者 西原 政文

質問…道路管理について、山内地区の浄水場横の農道は、旧北部農免道路とつながっており、道路管理上、市道編入していただき、市で管理をして欲しいと議会報告会で要望があった。住民の願いであり、産業厚生常任委員会でも調査をした。これについては市長にも声が届いていると思うが、市長の見解は。

答弁…この山内地区の浄水場横の農道は、圃場整備の時、農道拡幅の要望があり、地元関係者のみなさんと協議して行い、平成20年から平成24年にかけて現道拡幅工事を行った



えびの市商工会館



中内堅 梅木橋付近

農道である。幅員と市道認定要件を
確認して、今後検討していきたい。
質問…中内堅の圃場整備をしたと
ころの、農機具屋があった所から梅
木橋までは、古民家レストランの利
用者も多く、地元から舗装してい
ただきたいと要望が出ている。早速な
対応を考えていただきたい。

答弁…要望のあった中内堅圃場整
備の地区内にある農道については、
8月上旬には地元関係者と現地確認
している。この道路を利用される車
両が増えるなど路面に凸凹ができて

おり、維持管理に憂慮されている。
そのため、市より原材料コンクリー
トを支給して中内堅維持管理組合が
舗装補修作業を行うよう関係者と協
議している。

「道路改良について」

質問者 栗下 政雄

質問…山内地区の市浄水場横の農
道は、交通量も増えて危ないので、
この農道を市道認定し整備するよう、
市民から要望があった。考えを伺う。

答弁…えびの市では、昭和47年1
月17日に公表しております、えびの
市市道認定に関する、要綱等に基づ
き原則として路面、路肩幅員等が4
メートル以上で改良済みでの状態で
あることが条件であります。基本的
に改良済みの状態での市道への認定
を行うべきである。

質問…中内堅の市道を取り込んで
の圃場整備後、法線が変更になり、
狭い橋を通ることになり、特に梅木
橋付近は消防車も通過が困難で、宅
配車も苦慮していると市民からの声
があった。整備についての考えを伺
う。

答弁…多面的支払い交付金事業、

原材料支給、地元で対処するように
した。

質問…えびの中央線の改良につ
いて、防災、輸送として重要な幹線で
ある。池島地区から直線で市役所に
行けるよう、要望があった。今後に
ついての対応考えを伺う。

答弁…この道路はえびの中央線と
して位置づけまして過疎自立促進計
画で、道路整備を行う路線と位置づ
け、明年度にこの路線の調査を行う、
法線等につきましては、調査時に検
討する。



えびの中央線

議会報告・公聴特別委員会

編集 西原 義文

松窪 ミツエ

議会傍聴

しませんか

えびの市議会では年4回「定
例会」を開催します。定例会は
約1ヶ月かけて行われ、多くの
議案を慎重に審議します。予算
の執行状況や現状、今後の方針
などについて説明や報告をうけ
ます。このほか市政についての
一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及
び透明性を確保するために市民
に開かれた議会を目指しており
ます。

手続きは本会議当日に、本庁
3階の議会事務局で自分の住
所・氏名を傍聴申請書に記載す
るだけで、どなたでも傍聴でき
ます。

ただし、ルールやエチケット
は、お守り下さい。



硫黄山からの泥水対策に伴う水質改善処理施設整備を求める意見書

平成30年4月に硫黄山が250年ぶりに噴火し、この噴火に伴う泥水が、えびの高原内を流れる河川に流入し、下流にある河川の水質悪化など、農畜産業、観光業、商工業など様々な産業への影響が長期に及び深刻化している。

特に、長江川水系河川の水質悪化については、ヒ素などの重金属類が環境基準値を上回る濃度で確認され、またpH値は農業用水基準を上回る強酸性の数値を示したため、水田への取水が制限され、市内の水田の一部では、現在も水稲作付けが出来ないなど、農業を基幹産業とする本市においては、風評被害等も含め深刻な事態となっている。

現在では、宮崎県において水質改善対策として宮崎大学との連携により、石灰石による中和処理の実証実験が行われているが、泥水対策についての抜本的対策は明確に示されておらず、未だ農業用水としての噴火前と同等の水量確保は、その目途が立っていない。

この事態を受け、本市議会産業厚生常任委員会では、国土交通省関東地方整備局品木ダム水質管理所の視察調査を行い、石灰石による強酸性の水質中和処理について、その効果のほどを確認したところである。

については、今年度及び来年度以降の恒久的対策等について、下記事項の特段の措置を講じるよう強く要望する。

記

- 1 今回の河川水質悪化は、その原因となる泥水が国立公園内の硫黄山より流出し、河川に流入しているため、現在行われている水質改善の実証実験の結果を問わず、中和及び重金属等を取除く水質改善処理施設の早急な整備を行うこと。
また、現在堆積している泥土の早期撤去及び、現地での保管場所の確保対策を講じること。
- 2 上記項目の対策等については、国の管轄下において実施し、地元自治体への財政負担を強いることがないよう行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月2日

宮崎県えびの市議会

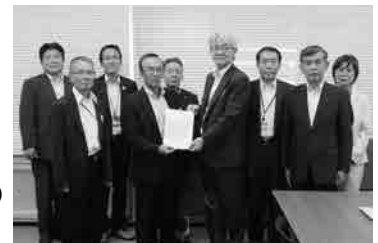
硫黄山の水質改善処理施設整備を求める意見書 硫黄山対策に関する中央要望

日時：令和元年9月25日（水）

要望先：内閣府、環境省、国土交通省

目的：硫黄山の水質改善処理施設整備を求める要望

内容：各省庁に意見書を提出すると共に、地元の住民からの声も届けました。



内閣府の政策統括官・防災担当と環境省の水・大気環境局長からは、各省庁と連携して取り組むとの回答がありました。また、国土交通省の担当者からは、現状での対策としては、施設整備も含め、困難であるとの回答でありました。

新議会構成決まる

令和元年10月臨時会において、新たな議会構成が決まりました。任期は令和元年10月3日からおおよそ2年間となっております。新議長のもとに、すべての委員会メンバーや議会選出委員等も新しくなりました。

議長 北園一正
副議長 遠目塚文美

総務教育常任委員会

委員長 西原義文
副委員長 小東和文
委員 小宮寧子・金田輝子
竹中雪宏・西原政文
栗下政雄・北園一正

※総務課 企画課 財政課 基地
防災対策課 市民協働課 財産管
理課 税務課 会計課 議会事務
局 選挙管理委員会 監査委員会
公平委員会 水道課 市立病院
及び教育委員会の所管に属する事
項
※他の委員会に属しない事項

産業厚生常任委員会

委員長 中山義彦
副委員長 吉留優二

委員 田口正英・松窪ミツ工
上原康雄・蔵園晴美
遠目塚文美

※市民環境課 健康保険課 介護
保険課 福祉事務所 観光商工課
畜産農政課 建設課 企業立地
課 農林整備課及び農業委員会の
所管に属する事項

議会運営委員会

委員長 竹中雪宏
副委員長 小宮寧子
委員 中山義彦・田口正英
松窪ミツ工・西原政文

※議会運営に関すること
議会の会議規則、委員会条例に
関する事項 議長の諮問に関する
事項

議会選出監査委員

委員 松窪ミツ工

議会広報特別委員会

委員長 小宮寧子
副委員長 吉留優二
委員 田口正英・松窪ミツ工
西原義文・西原政文
蔵園晴美

議会報告公聴特別委員会

委員長 上原康雄
副委員長 金田輝子

委員 中山義彦・遠目塚文美
小東和文・竹中雪宏
栗下政雄

西諸広域行政事務組合議会議員

議員 上原康雄・竹中雪宏
栗下政雄

えびの市戦没者追悼奉賛会

委員 北園一正・遠目塚文美

えびの市青少年育成市民会議

委員 吉留優二・西原政文

都市計画審議会委員

委員 北園一正・小東和文
田口正英

えびの市畑地かんがい事業推進協議会

委員 北園一正・上原康雄

人権同和問題啓発推進審議会

委員 北園一正・遠目塚文美
西原義文・中山義彦

えびの市森林・林業・林産業活性化議員連盟

会長 遠目塚文美

副会長 中山義彦・西原義文

事務局長 小宮寧子

幹事 金田輝子・松窪ミツ工

小林・えびの間道路改良促進期成同盟会

監事 北園一正
理事 中山義彦
委員 吉留優二・田口正英
松窪ミツ工・上原康雄
蔵園晴美・遠目塚文美

他に、

JR古都線利用促進協議会

霧島ジオパーク推進連絡協議会

西諸地区農業水利総合開発事業促進協議会

飯野高等学校を守り育てる市民の会

えびの市郷土芸能保存連合会

にしもろ定住自立圏構想推進首

長・議長会

環霧島会議

宮崎県鉄道整備促進期成同盟会

陸上自衛隊第24普通科連隊と

えびの駐屯地存続期成同盟会

高速自動車国道建設促進宮崎県

期成同盟会

川内川上流河川改修期成同盟会

川内川改修促進期成会

国道447号整備促進期成会

等は議長職になっていきます。

議員別表決

「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否が割れたもののみを掲載しています。）

議案番号	議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果
		上原	小宮	吉留	金田	中山	遠目塚	小東	田口	松窪	北園	竹中	西原(義)	西原(政)	蔵園	栗下	
議案第72号	令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第2号)について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
認定第1号	平成30年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
認定第2号	平成30年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
認定第3号	平成30年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
認定第4号	平成30年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
陳情第7号	グリーンツーリズム体験イベント企画運営事業について地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	不採択

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません

議会日誌

【令和元年6月】

- 24日 6月定例会【閉会】
- 24日 議会広報特別委員会
- 26日 産業厚生常任委員会
- 28日 議会広報特別委員会

【令和元年7月】

- 3日 議会報告公聴特別委員会
- 4日 議会広報特別委員会
- 7日 えびの市消防団夏季点検・操法大会
- 8日 議会広報特別委員会
- 9日 J R吉都線崩落緊急要望・現地視察
- 11日 総務教育常任委員会（管外調査12日まで）
- 16日 産業厚生常任委員会（管外調査18日まで）
- 23日 議会報告公聴特別委員会
- 25日 南九州中部市議会議長会議員研修会
- 26日 西諸広域行政事務組合議会広域議員
- 29日 宮崎県市議会議長会議員研修会
- 30日 全員協議会

【令和元年8月】

- 2日 議会報告会(加久藤・真幸)
- 8日 総務教育常任委員会（管内調査）
- 9日 議会報告会(飯野・上江)
- 19日 産業厚生常任委員会（管内調査）
- 22日 議会報告公聴特別委員会
- 26日 全員協議会
- 27日 産業厚生常任委員会(管内調査)
- 28日 議会運営委員会

【令和元年9月】

- 2日 9月定例会【開会】

編集後記

気が付けば朝夕と涼しくなり、近頃は朝露が草木を濡らす光景が目に見え季節となりました。

紅葉や行楽のシーズンを迎えるこれからという時に、度重なる台風で東日本では予想を遥かに超えた大雨により、甚大な被害が起き、多くの方が犠牲になりました。心よりお見舞い申し上げます。

こういった災害が起きるたびに、自然の脅威を痛感します。ただその一方で、自然は私たちに豊かな恵みも与えてくれます。ありがたいことにえびの市は、今年も美味しいえびの米が収穫できました。農家の方のご苦労や自然の恵みに感謝して美味しいお米をいただきます。

さて、この度10月の臨時会において議会構成が変わり、広報委員会も今回から新しい委員での編集による議会だよりとなりました。これからも、より多くの市民の皆さまに手に取って読んで頂き、議会をより身近に感じて頂けるような広報誌づくりを目指して、委員一同頑張ります。

議会広報特別委員会
委員長 小宮 寧子

